

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

#### (2) 消費税の会計処理方法

消費税の会計処理方法は税込方式によっている。

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法による評価を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	30,000,000	0	0	30,000,000
合 計	30,000,000	0	0	30,000,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等その内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	( 0)	
小計	30,000,000	(30,000,000)	( 0)	
合 計	30,000,000	(30,000,000)	( 0)	

### 4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,680,806	2,591,614	89,192
合 計	2,680,806	2,591,614	89,192

6. 保証債務  
該当なし。

7. リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は次のとおりである。  
事業費管理費で賃借料処理している。

リース機器	毎年／額	当期末残高	期間／年	リース期間
印 刷 機	180,144	180,144	5	H29.4月～R4.3月迄

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金、前払金、未払金を含めている。  
前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	40,595	46,361
普通預金	13,798,562	5,300,890
前 払 金	211,930	3,549,000
合 計	14,051,087	8,896,251
未 払 金	358,635	272,082
合 計	358,635	272,082
次期繰越収支差額	13,692,452	8,624,169

### 3. 予算額と決算額の差異について

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異	理由
曲水の宴	1,100,000	0	1,100,000	感染症拡大予防のため 中止
音楽会	4,350,000	1,660	4,348,340	感染症拡大予防のため 中止
空手道大会	1,550,000	11,340	1,538,660	感染症拡大予防のため 中止
柔道大会	1,700,000	10,164	1,689,836	感染症拡大予防のため 中止
剣道大会	1,500,000	20,664	1,479,336	感染症拡大予防のため 中止